

令和 7 年度 第1回 東陽中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和 7 年 5 月 22 日(木) 14 時 00 分～15 時 30 分
- 2 開催場所 東陽中学校会議室
- 3 出席委員 大橋 美義、飯塚 正師、小田 明美、藤田 真弓、中村 健二、山田 玲子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 複田 唯之(南陽協働センター)
- 6 学 校 中野 敬之(校長)、神村 由貴子(教頭)、柏木 直人(教務主任)、高橋 総(生徒指導)
乾由佳(CS ディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 乾 由佳
- 9 会長の選出及び副会長の指名
司会から大橋委員に会長に推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された大橋委員から、小田委員を副会長に指名する旨の報告があった。
- 10 議長の選出
司会から議長の選出について意見を求めたところ、大橋委員から 1 回目は自分が務める旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
- 11 協議事項
 - (1) 令和 7 年度学校運営の基本方針について
 - (2) 今年度の見通し(昨年度の評価より 職場体験・部活動・不登校支援)
 - (3) いじめ防止基本方針について
- 12 会議記録
司会の大橋会長から、委員総数 6 名のうち 6 名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和 7 年度学校運営の基本方針について(別紙参照)
議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。
 - ・部活動について、なるべくボランティアで貢献すれば、こども達のためになるが、持続可能というものがどういったものなのか。不祥事ゼロについて、何かあった場合は、正直に話してもらいたい。(飯塚)
 - ・今年度中に市のガイドラインが出されるため、それに沿って地域移行の準備をしたい(校長)
 - ・子供達一人一人の良いところを認めてもらい、自信を持てるようにのばして欲しい。(小田)
 - ・(1)の『小さなことも認め、励ます』こどもに対して良いことだと思う。家の事情でクラブチーム等に参加できない子供達も楽しめる部活動にしてほしい。(山田委員)

・浜松市の構想も入っている、ページも減りシンプルになり見やすくなつた。シンプルで皆さんに伝わりやすいと思う。(大橋会長)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(2)今年度の見通し(昨年度の評価より 職場体験・部活動・不登校支援)

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき説明があり、委員会からは以下の発言があつた。

・部活動の地域移行について、浜松市の動向やそれに即した学校での検討事項等をこんな感じですと、提示をしてくれると有難い。(飯塚委員)

・市のガイドラインが発出され次第、本校としての素案を作成し、本委員会で熟議をいただきたい。(教頭)
協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(3)いじめ防止基本方針について

議長の指示により、生徒指導教諭の高橋から、別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があつた。

・アンケートも大事だが、普段の様子を見て気付けることもあると思うので、先生方にはアンテナを高くしてもらいたい。(中村委員)

・アンケート実施後どのようなスピードで動いているのか？(飯塚委員)

・質問に軽重をつけおり、重い質問には当日、もしくは翌日には担任がヒアリングを行う。その対応については、担任が学年主任や学年生徒指導担当と協議し、必要があると判断した場合は、家庭連絡や相手がいる場合には、相手への聞き取りをしたうえでその保護者にも連絡を入れる等している。(高橋)

・アンケートの回数多くて回答がいい加減にならないか。(大橋会長)

・アンケートの様式がそれぞれ異なるので、子供達の向き合う姿勢も異なる。(高橋)

・自分の気持ちを言うのが怖い、説明も苦手な子にとっては、今月は書けなくても、翌月は書けるかもしれない。先生方が、自分のことをちゃんと見ていてくれると子供は認識するのでは。(小田委員)

・本人からではなく、周りからの報告もあるので、回数を多くするのは良いと思う。(校長)

・大人になると間に人が立ってくれることが無くなるので、可能であればアンケートを例にして、人間関係の築き方を教えてあげられると良い。(飯塚委員)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

その他連絡事項

司会から、次回会議は7月1(火)14時から2F会議室で開催する旨の報告があつた。